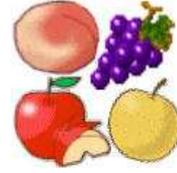


平成25年度 果樹情報 第15号

(平成25年10月18日)



福島県農林水産部農業振興課

1 気象概況 (10月前半：果樹研究所)

10月1～3半旬の平均気温は、1半旬が18.4℃で平年より0.6℃高く、2半旬が21.9℃で平年より5.7℃高く、3半旬が17.1℃で平年より1.2℃高い状況でした。この期間の降水量は33.5mmで平年の53.9%でした。

2 土壌の水分状況 (10月16日現在)

果樹研究所における土壌水分 (pF値：無かん水・草生栽培りんご園) は、深さ20cmが1.5、40cmは0.3、60cmは1.2とやや過湿状態となっています。

3 生育状況 (果樹研究所)

(1) りんご

ア 果実肥大 (10月15日現在)

「ふじ」の果実肥大を暦日で比較すると、縦径が81.2mmで平年比100%、横径が87.7mmで平年比100%と平年並みの状況です。

また、満開後日数による比較でも、ほぼ平年並みの状況です。

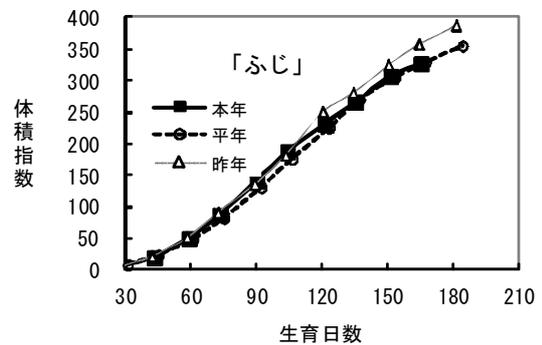


図1 りんごの果実肥大 (満開後日数比較)

イ 「ふじ」の裂果発生状況

10月15日現在、マルバカイドウ台「ふじ」(48年生)の外部裂果率は17.4%(昨年：7.6%)、裂果率(外部+内部裂果)は39.1%(昨年：23%)、わい性台「ふじ」(17年生)の外部裂果率は13.9%、裂果率(外部+内部裂果)は16.7%で発生が多い状況でした。

ウ 「ふじ」の果実成熟 (満開後165日現在)

10月15日現在、硬度は14.3ポンドと平年より低く、デンプン指数は3.9で平年よりやや高い状況でした。また、糖度は14.5で高く、リンゴ酸は0.40%でほぼ平年並の状況でした。アントシアニン含量およびクロロフィル含量はほぼ平年並みに推移しています。

※ りんごのデンプン指数：染色が濃いほど未熟(指数1：100%染色、指数2：果芯部以外染色、指数3：果芯部の外側まで染色せずデンプンが消失しており果実切断面の50%以上が染色、指数4：果実切断面の20～50%が染色、指数5：染色部位はほぼ果皮直下に限られる)。

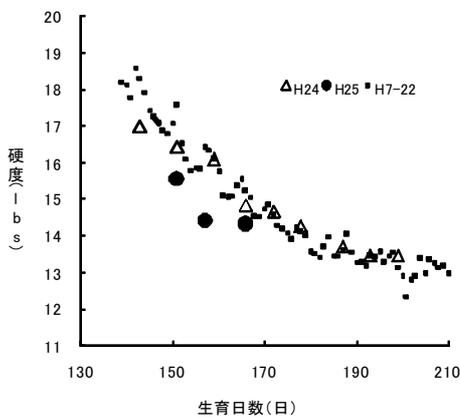


図2 生育日数と果肉硬度の関係

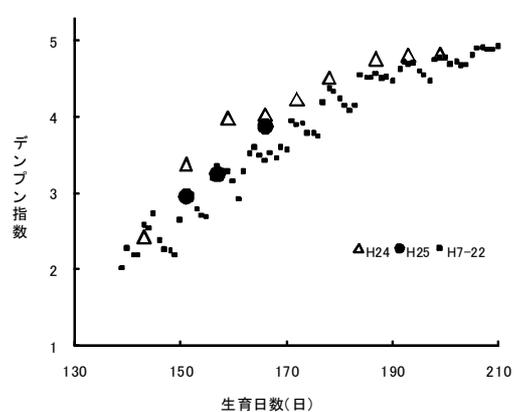


図3 生育日数とデンプン指数の関係

4 栽培上の留意点

(1) りんご

ア 「ふじ」の収穫前管理

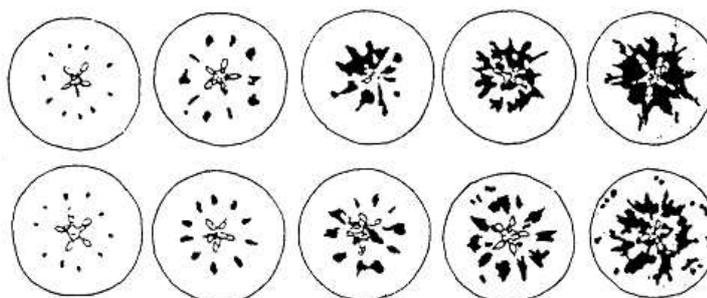
摘葉、玉回しは遅れないように実施しましょう。

イ 「王林」の収穫

未熟果（緑色果）を収穫すると食味が劣るので、果面全体に果点が浮き上がってきた果実から2～3回に分けて収穫しましょう。収穫適期は、果皮色が全体に黄色みを帯び、がくあ部付近にやや緑色が残っている状態です。果面から緑色が消えた黄色果は貯蔵性が低くなるので適期収穫を実施してください。

ウ 「ふじ」の収穫

収穫適期は、着色や蜜入り状況とともに食味を確認し総合的に判断しましょう。蜜入り指数2以上の完熟果実を収穫しましょう。



指数1 指数2 指数3 指数4 指数5

図4 りんごの蜜入り指数

5 病虫害防除上の留意点

(1) 病 害

ア モモせん孔細菌病

2回目の秋季防除を未実施の園は、落葉前の10月中旬頃までに必ず実施しましょう。また、新梢葉や果実での発生が多かった園では、落葉前までにさらに1回追加して秋季防除を実施しましょう。

病虫害の発生予察情報・防除情報

病虫害防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

<http://www.pref.fukushima.jp/fappi/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024(521)7339
(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください。)

URL：http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pep_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=22752#gi_jyutsu_jyohou

ふくしま新発売：以下のURLより最新の農林水産物モニタリング情報、イベント情報等をご覧ください。

URL：<http://www.new-fukushima.jp/>